

ネットワーク(電力・都市ガス)の分断時に LPガスがバックアップ

分散・独立
オンサイト型エネルギーは
災害に強く復旧が早い



避難施設はLPガス常時使用を

東日本大震災をはじめとした過去の大規模災害では、避難所等でのLPガスの活躍が大きく報じられています。LPガスは個別供給なので災害後の復旧が早く、供給設備の設置が簡単なことがメリットです。しかし近年、LPガス販売店やガス充填基地は減少傾向にあり、とくに都市などで、緊急時のLPガスの手配に手間取ることも想定されます。そこで、当社では非常時に避難所となる施設は、平時からのLPガスの使用をご提案しています。

LPガス使用施設をネットワーク化し 災害に強い街づくりをすすめましょう

LPガスの機器は、使い勝手は都市ガスの機器と変わりませんが、機器自体は都市ガスのものとは異なります。このため、都市ガスエリアでLPガスを利用するには、新たなLPガス機器の導入が必要となります。でも、LPガスに転換して平時から利用すれば、ガス設備の重複が避けられるうえに、災害時にはそれらを災害のファーストエイドにそのまま活用できます。

点検・復旧の早いLPガスは 避難所や病院などのエネルギーとして最適です

